

令和7年度 乗務員教育計画表

令和7年4月～9月

| 月 | 全体教育 | 旅客接遇・健康管理・環境保護 | |
|----|--|---|---|
| 4月 | 事業用自動車を運転する場合の心構え (事業用自動車の公共性、重要性、運行の安全確保・旅客の安全確保・模範となるマナーの良い運転指導) 春の交通安全運動／防災訓練と自社の防災基本方針・計画・目標 (警察署での道路交通ルール講義／自然災害における防災基本方針指導・計画・目標) | 安全を確保するために遵守すべき基本的事項 点呼時報告等の徹底・交通ルールの遵守 ドライブレコーダー活用指導 自然災害時に関する基礎知識と基本方針 | 服装・挨拶・言葉遣い・丁寧な対応・喫煙マナー 感染症対策の継続・睡眠時間の確保 季節の変わり目による体調変化管理について 健康面における個別指導（お薬手帳記録・他） |
| 5月 | 事業用自動車の構造上の特性運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項 (道路運送法・道路交通法の理解及び遵守すべきポイントの指導) 法令の遵守・車両点検整備の遵守・交通ルールの遵守 (ヒヤリハット情報収集・報告と共に点検指導) | 点呼時における、車両・道路・運行の報告の徹底 交通ルールの遵守・車両の日常点検とメンテナンスの徹底 ヒヤリハット情報収集・報告・改善指導 ドライブレコーダー活用指導 | 服装・挨拶・言葉遣い・丁寧な対応・喫煙マナー 感染症対策の継続・睡眠時間の確保 暴飲暴食をしない・休肝日で自己管理を図る 日常点検・整備・清掃の徹底 |
| 6月 | 乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項 (車内事故防止対策として事例を基にヒヤリ・ハット研修・シートベルト着用の徹底) 梅雨期の安全運転について (道路状況の変化・運行時の注意点) | 運転適性診断の種類と対象者の個別指導 情報収集・報告・協議・改善／シートベルト着用の徹底を図る 急のつく運転をしない・十分な車間距離と安全な速度・乗客の状況確認 悪天候における事故発生の高リスクの理解・確認・危険への配慮 | 服装・挨拶・言葉遣い・丁寧な対応・喫煙マナー 感染症対策の継続・睡眠時間の確保 バランスのよい食事と健康促進を図る 日常点検・整備・タイヤ等のチェック重視 |
| 7月 | 旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項 (乗降口の扉の開閉による事故防止の等の指導) 夏季の事故防止と体調管理指導 (車両点検・整備のあり方／熱中症等の健康起因による事故防止対策／生活習慣病予防の外部講義指導) | 乗降時の不適切な操作を防ぐ為、運転者に危険性を認識させる 周辺・天候等の状況を把握し乗降時の安全確認を図る 日常点検及び車両のメンテナンスの徹底 健康状態の報告の徹底・熱中症予防等夏季の健康管理強化 | 夏季の服装・挨拶・言葉遣い・丁寧な対応・喫煙マナー 感染症対策の継続・睡眠時間の確保 熱中症予防対策・生活習慣病等の理解と改善 エアコン点検と操作・環境保護の重要性 |
| 8月 | 主として運行する路線若しくは経路又は営業区域における道路及び交通の状況の把握と留意すべき事項 (道路及び経路における交通量・道路の状態・信号・障害物等の把握と安全運転のポイント) 猛暑期の事故防止と体調管理指導 (車両点検・整備のあり方／熱中症等の健康起因による事故防止対策) | 安全な運転を行うため留意すべき事項の指導 危険の予測・予知・人命・交通ルール・過信運転・注意起点 夏場の健康状態の把握・ストレス状態 热中症予防等猛暑期の健康管理強化 | 夏季の服装・挨拶・言葉遣い・丁寧な対応・喫煙マナー 睡眠時間の確保 热中症予防対策・ストレス状態等の個人面談等 日常点検・整備・タイヤ等のチェック重視・エアコン点検 |
| 9月 | 安全の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法 (安全性の向上を図るための装置に係わる事故の事例・装置の性能及び留意点の指導) 秋の交通安全運動・交通安全外部講習会・防災訓練と自社の防災基本方針 (道路交通ルール／自然災害における防災基本方針指導・訓練・災害時備蓄品の確認と使用法) | 事故の特性を理解し運転支援装置の機能を正確に把握するための指導 性能と注意事項を認識し、装置の性能を過信せず常に運転に集中する 安全運転に心掛けるよう指導する ドライブレコーダー活用指導・自然災害時に関する基本方針と訓練 | 服装・挨拶・言葉遣い・丁寧な対応・喫煙マナー 感染症対策の継続・睡眠時間の確保 季節の変わり目による体調変化管理について 燃費向上運転・環境保護の重要性 |

令和7年度 乗務員教育計画表

令和7年10月～令和8年3月

| 月 | 全体教育 | 旅客接遇・健康管理・環境保護 | |
|--------|--|--|---|
| 10月 | 運転者の運転適性に応じた安全運転 (適性診断・業務時のデジタコ記録の結果に基づく個々の運転者の特性を自覚させる指導) 交通事故に関わる運転者の生理的・心理的要因／健康起因による事故防止対策 (ヒューマンエラー・疲労・ストレスについての対処法) | 運転適性診断の種類と対象者の個別指導 デジタコ記録を基にした安全運転指導 危険に対する認知指導及び技能向上実技指導 疲労・ストレス及び精神状態等の個別面談 | 服装・挨拶・言葉遣い・丁寧な対応・喫煙マナー 感染症対策の継続・睡眠時間の確保 酒気帯び運転の根絶と絶対禁止・個人面談による指導 健康面における個別指導（お薬手帳記録・他） |
| 11月 | 危険の予測・予知及び回避並びに緊急時における対応方法 (危険予知訓練の実施及び危険回避の方法の周知／事故発生時・災害発生時における対応方法と指導) 過労運転防止とサービス向上について (疲労・ストレス・睡眠不足による運転防止／接客対応について) | ドライブレコーダー活用した危険予知トレーニング及び実技指導 危険の予測及び回避の方法の理解と必要な技能を習得する 天候・夜間運行による危険への配慮と適切な運転技術の向上を図る 過労による事故防止対策と健康状態の報告と改善指導／接客マナーと指導 | 服装・挨拶・言葉遣い・丁寧な対応 感染症対策の継続・睡眠時間の確保 生活習慣病に対しての理解と改善 燃費向上運転・環境保護の重要性 |
| 12月 | 健康管理の重要性 (疾病に起因する交通事故事例に基づく指導及び定期健康診断による生活習慣病の改善を図る指導) 冬場の安全輸送について（整備）・年末輸送安全総点検 (天候・車両点検・タイヤ点検・チェーン装着指導と理解／輸送安全総点検実施事項) | 健康診断結果に基づく個別指導 乗客の安全のため健康管理を意識し、健康増進を図る 冬場の運行の安全確保 スタッドレスタイヤ使用とチェーン装着指導と理解 | 服装・挨拶・言葉遣い・丁寧な対応 感染症対策の継続・睡眠時間の確保 日常生活における飲酒の抑制・暴飲暴食の自制 適切な車内温度・車庫内暖機運転の短縮 |
| 令和7年1月 | 交通事故に関わる運転者の生理的・心理的要因並びにこれらへの対処法 (過労・睡眠不足・飲酒・慣れ・過信運転等の交通事故の要因となる状態を理解させるための指導) 年始輸送安全総点検 (輸送安全総点検実施事項) | 安全運転意識の高揚 生理的要因・心理的要因の理解と個々の状態の認識と改善 必要に応じて個別指導を行う 健康管理の増進体制強化 | 服装・挨拶・言葉遣い・丁寧な対応 感染症対策の継続・睡眠時間の確保 年始における個々の健康増進への目標の設立 酒気帯び運転の根絶と絶対禁止・個人面談による指導 |
| 2月 | ドライブレコーダーを活用した運転者の運転特性に応じた安全運転の指導 (運転者の個々の癖や問題点を明確にし適切な防止対策を講じるための指導) ドライブレコーダーの記録を活用した苦情・ヒヤリ・ハット等の自社内の共有 (映像確認・運転の問題点を映像から分析・運転映像を共有し運転技術向上を図るための指導) | 映像の確認・映像の分析・危険予知トレーニング及び実技指導 該当する運転者に対しての個別指導 映像を用いた自社内の共有・改善に向けた協議・改善指導 事故0目標達成のために運転映像記録を有効に活用する | 服装・挨拶・言葉遣い・丁寧な対応 感染症対策の継続・睡眠時間の確保 日常生活における飲酒の抑制 非常信号用具・消火器等のチェックと実施訓練 |
| 3月 | 事業用自動車の構造上の特性 (死角・内輪差及び制動距離／危険の予測・予知・回避) 防災訓練と自社の防災基本方針・計画・目標／標緊急時における対応 (自然災害における自社防災訓練・周知／消防署での救命講義・実技指導) | 危険予知トレーニング及び実技指導 指差確認等の安全確認の徹底 救命指導・発煙筒や消火器等の取扱指導 ドライブレコーダー活用指導 | 服装・挨拶・言葉遣い・丁寧な対応・喫煙マナー 感染症対策の継続・睡眠時間の確保 日常生活における飲酒の抑制 燃費向上運転・環境保護の重要性 |

1. 健康診断：年2回の健康診断受診（健康診断結果に基づく指導及びよりよい健康状態を目指すための健康促進指導と
2. 個人面談・指導（健康状態の把握・アドバイス的指導・適性診断結果に基づく安全指導を行う）
3. 自動車事故対策機構NASVA受講（受講者に対する受講結果に基づく安全指導及び実技向上指導）
4. ヒヤリ・ハット及び苦情に対して（ヒヤリ・ハット及び苦情等報告時は、映像を分析し自社内での共有と指導及び改
5. ドライブレコーダー活用指導（ドライブレコーダーの映像を確認・分析し乗務員の安全意識を高める）
6. 車両点検・整備（日常点検の徹底・点呼時の報告の徹底・整備の徹底を行う）
7. 実技向上指導（輸送の安全を図るため定期的に実技向上指導を行う）
8. 外部講義・実技指導（警察署・消防署・食生活アドバイザー等の外部講義・実技講習を受講する）
9. 自然災害・防災指導（自然災害時に対応できるよう組織体制をつくり周知する。また発電機や備蓄品のチェックを行
10. 情報収集・共有・協議等の場を率先して設け社内協調性と安全に対する意識向上に努める

有限会社福留交通観光

代表取締役 福留健一郎